

< もくじ >	
1. 2016年度定時総会・第15回大会のお知らせ	1~2
2. 研究会からのお知らせ	2~3
3. 各研究会の概要報告	3

## 1. 2016年度定時総会・第15回大会のお知らせ

日 時：2016年6月5日（日）

会 場：お茶の水女子大学 本館3 階306室

第1部 2016年度定時総会（10：00～10：50）

第2部 大会テーマ：「現代日本の格差と貧困」（持続可能な超高齢社会Ⅰ）

一般報告（11：30～12：15）

基調講演・シンポジウム（13：15～16：35）

第3部 懇親会（17：00～18：30）

★ 総会・大会への出欠ハガキをまだご送付いただいていない方は、早急にお送りください。とくに  
ご欠席の方には、委任状と総会の5つの議案への賛否を示していただく欄がございますので、そ  
ちらへのご記入もお忘れのないようお願いいたします。

今年度は、一般社団法人シニア社会学会の第3期3か年計画の初年度に当たります。そこで、  
本学会では3か年計画の研究活動のテーマを、「持続可能な超高齢社会」とし、その第1年度の  
大会（6/5）のテーマを、「現代日本の格差と貧困」としました。現在私たち自身が出発点とし  
て踏まえるべき現実と、それがどのようにして生じてきたのかをしっかりと見据えることによって、  
これから3年をかけて「持続可能な超高齢社会」をめざす方向性を見定めていきたいと思ひます。

基調講演を、駒村康平さん（慶應義塾大学教授）をお願いしております。経済学がご専門で、現  
代日本の格差と貧困の現状とその背景について詳しくお話しいただく予定です。その後のシンポ  
ジウムとともに、どうぞご期待ください。

午前中の一般報告「地域での活動から」では、現代日本の各地域で問題に取り組んでおられる会  
員の方々からのご報告により、「持続可能な超高齢社会」を見ていく視点を「地域での人びとのつ  
ながり」に求めていく必要性を、さまざまな切り口から提示していただく予定です。

### ◆ 一般報告：地域での活動から（11：30～12：15）

司会：長田攻一（当学会理事）

1. 佐藤敬（地域創生活動、会員）

テーマ：超高齢時代の地域再生のカギは「年寄り」の“老人力”にあり！

2. 白木里恵子（早稲田大学創造理工学部助教、会員）

テーマ：実践まちづくり学習によるコミュニティの醸成—人材育成の視点から—

3. 駒宮淳子（福島避難者支援活動、会員）

テーマ：ところ定まらぬ避難者の居場所づくり～東日本大震災による避難者の支援活動  
を通して～

◆ **基調講演** (13:15~14:35)

講師：駒村 康平 (慶應義塾大学 教授)

テーマ：現代日本の格差と貧困

◆ **シンポジウム** テーマ「現代日本の格差と貧困」(14:45~16:20)

問題提起・司会進行：袖井孝子 (当学会会長)

コメンテーター：

伊藤憲祐 (あやめ診療所院長、会員)

川村匡由 (当学会理事、武蔵野大学名誉教授)

平井葉子 (パワフルエイジング研究会、会員)

駒村康平 (慶應義塾大学教授)

\*意見交換、フロアー討論を行います。

◆ **懇親会** (17:00~18:30)

会員、非会員を問わず各地域で活躍している方々との意見交換や、いろいろと参考になることも率直に聞ける場ですので、是非ご参加ください。

## 2. 研究会からのお知らせ

### (1) 第33回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

1) 日 時：2016年5月23日(月) 15:00~18:00 (月曜日の開催ですので、ご注意ください。)

2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室

3) テーマ：①研究会のこれからのテーマ及び進め方についての意見交換  
②安田コーディネーターから問題提起

4) 参加費：300円

※お問い合わせ、参加申込は島村 (ken-simamura1941@jcom.home.ne.jp) 迄お寄せ下さい

### (2) 第31回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ

1) 日 時：2016年5月25日(水) 18:30~20:30

2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館5階第5会議室

3) 報告者：浅野 幸子 (減災と男女共同参画研修推進センター共同代表、  
専修大学非常勤講師)

4) テーマ：地域の防災力・持続可能性とジェンダー構造

5) 参加費：500円 (学生は無料、ただし社会人入学者を除く)

※お問い合わせ、参加申込は事務局・福原 (fukuhara@jaas.jp) 迄お寄せ下さい

### (3) 第34回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

1) 日時：2016年6月16日(木) 15:00~18:00

2) 場所：早稲田大学国際会議場4階第6研究室

3) テーマ：濱口座長からの問題提起：貧しさについて一河上肇『貧乏物語』からの話題提供—

4) 参加費：300円

※お問い合わせ、参加申込は島村 (ken-simamura1941@jcom.home.ne.jp) 迄お寄せ下さい

#### (4) 第19回「ガバナンス研究会」開催のお知らせ

- 1) 日時：2016年6月29日(水) 14:00~15:30
- 2) 場所：地域サロン「びらっと」(JR武蔵境駅北口徒歩5分)
- 3) テーマ：「参議院選挙を占う」
- 4) テキスト：なし
- 5) 参加費：500円
- 6) 申し込み：m\_kawa@musashino-u.ac.jp、携帯090-3102-8446 (川村理事)

#### (5) 「シニアのICT活用研究会」の開催について

\* 研究会は休会中であり、再開が決まり次第改めてお知らせします。

### 3. 各研究会の概要報告

#### (1) 第94回 社会保障研究会の報告

- 1) 日 時：2016年4月20日(水) 18:00~20:00
- 2) 場 所：日本労働者協同組合連合会会議室 (ISP タマビル8階)
- 3) 講 師：福田 明美 (日本電気株式会社・社会保険労務士)
- 4) テーマ：「マイナンバー最新動向」

2013年の自・公・民の3党合意によるマイナンバー法成立で、2016年1月1日から施行されたマイナンバー制度。国民感情としては「自分の情報を国に一元管理される不快感」「芋づる式の情報漏洩へのリスク」など、どちらかという批判的なものが多い。しかし既に施行されている制度である以上、マイナンバー制度を正確に理解することは、いたずらに不安感を持つことなく冷静に対処するための術となる。

昨年末に自分自身のマイナンバーを手にはしたが、個人の日常生活上のメリットや注意点は解りにくい。そこで研究会では、マイナンバー制度の導入趣旨、マスコミで喧伝されている内容の真偽、実際に施されているマイナンバー制度のセキュリティ対策を解説すると共に、2017年1月に開始予定の“マイナポータル”のサービス機能や、個人の生活上の留意点を解説。例えば“マイナンバー”という番号自体と、混同されがちな“マイナンバーカード”との違いや、勤務先・講演料等の謝金支払い先へのマイナンバー提供の義務や罰則の有無等、具体的な対処方法をお示しした。ちなみに、法改正に伴い金融機関は預金者からマイナンバーを取得できるようになったが、預金者側の告知義務はなく、任意であることを申し添える。

急速に進む少子化や高齢化、働く人の4割が非正規という雇用形態の変化から、我が国の世代間・世帯間格差は年々拡大する一方である。労働者人口の減少とITの進展に応じた行政の効率化も急務である。加えて、近年さらに強まってきた税と社会保障の公正・公平の改善要求に応えるには、年齢基準より所得基準、申告主義による給付から、社会的弱者へのきめ細やかな配慮がなされる仕組み(低所得者には手厚く、高所得者にはそれなりに)への見直しが進められている。その対応にはどうしても所得の正確な把握が必要であり、これがマイナンバーの導入の趣旨である。

マイナンバー制度は開始されたばかりであり、定期的な法改正を経て民間事業者での活用や東京オリンピックでの利用も具体化されている。今後も正確で新しい情報を提供していく所存である。

(福田明美 記)

一般社団法人シニア社会学会・事務局 (月・水・金オープン)  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階  
電話&FAX：(03) 5778-4728  
eメール：[jaas@circus.ocn.ne.jp](mailto:jaas@circus.ocn.ne.jp) URL：<http://www.jaas.jp/>